

産業建設常任委員会審査日程

日 時 令和2年9月4日（金）
一般会計産業建設分科会後
場 所 第2委員会室

審査内容

- 1 陳情・要望について
- 2 閉会中の継続調査事項について

山陽小野田市議会議長
小野 泰 様



人生百年時代におけるシルバー人材センターの決意と支援の要望

我が国においては、人口減少、少子高齢化が進展し、人生百年時代を迎えた今、誰もが生涯現役で活躍できる社会の実現が求められています。

シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献しています。

昨年十二月に政府がまとめた「全世代型社会保障検討会議中間報告」においても、元気で意欲あふれる高齢者が、その能力を十分に発揮し、年齢にかかわらず活躍できる社会を創る必要性が指摘されており、シルバー人材センターの果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きなものとなっています。

こうした国の施策の実現や、地方自治体の施策、地域社会の期待に応えるべく、私たちは今、平成三十年代から令和六年度までの七年間を期間とする「第二次会員百万人達成計画」を踏まえ、会員拡大、とりわけ女性会員の拡大の取組を強力に推進しているところです。

また、「自主・自立、共働・共助」という理念のもと、高齢者の安全就業を確保し、国が定めた適正就業ガイドラインを順守しつつ、

- ① 介護予防・日常生活支援総合事業など要支援高齢者に対する支援事業
 - ② 放課後児童クラブの担い手など子育て中の現役世代や子供たちへの支援事業
 - ③ 人手不足や働き方改革に取り組む地元企業に向けたシルバー派遣等の事業
 - ④ 空き家管理、遊休地を活用した農園事業など地域の課題解決に資する事業
- 等を重点に取り組み、地域社会の発展と就業意欲のある高齢者の受け皿としての役割を果たしてまいりたいです。

つきましては、令和三年度のシルバー人材センター事業の推進のために必要なセンターに対する補助金等の確保を要望いたします。

特に、国においては一般会計をはじめとした補助金の確保、また、都道府県・市区町村においては国の補助金と同額以上の補助金の確保、さらには、センターに対する市区町村等の公共からの事業発注の確保について、強く要望いたします。

また、令和五年十月に導入予定の消費税における「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」について、シルバー人材センター事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となる措置を要望いたします。

令和 二年 八月 十八 日

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

令和 二 年 度 定 時 総 会

公益社団法人山陽小野田市シルバー人材センター

公益社団法人	全国シルバー人材センター事業協会	会長	金子順一
公益社団法人	北海道シルバー人材センター連合会	会長	下村英敏
公益社団法人	青森県シルバー人材センター連合会	会長	波岸正
公益社団法人	岩手県シルバー人材センター連合会	会長	佐々木明敏
公益社団法人	宮城県シルバー人材センター連合会	会長	白川由利枝
公益社団法人	秋田県シルバー人材センター連合会	会長	小野忠儀
公益社団法人	山形県シルバー人材センター連合会	会長	鹿間康
公益社団法人	福島県シルバー人材センター連合会	会長	川浪廣次
公益社団法人	茨城県シルバー人材センター連合会	会長	綿坂剛
公益財団法人	栃木県シルバー人材センター連合会	理事長	富田哲夫
公益財団法人	群馬県長寿社会づくり財団	副理事長	川原武男
公益財団法人	いきいき埼玉	理事長	永沢映
公益財団法人	千葉県シルバー人材センター連合会	会長	下村精哉
公益財団法人	東京しごと財団	理事長	小沼博靖
公益社団法人	神奈川県シルバー人材センター連合会	理事長	山中森勝
公益社団法人	山梨県シルバー人材センター連合会	会長	小林信保
公益社団法人	新潟県シルバー人材センター連合会	会長	若林孝
公益社団法人	富山県シルバー人材センター連合会	会長	久世浩
公益社団法人	石川県シルバー人材センター連合会	会長	桶川秀志
公益社団法人	福井県シルバー人材センター連合会	会長	高山浩充
公益社団法人	長野県シルバー人材センター連合会	会長	酒井登
公益社団法人	岐阜県シルバー人材センター連合会	会長	浅野壽
公益社団法人	静岡県シルバー人材センター連合会	会長	深田勝
公益社団法人	愛知県シルバー人材センター連合会	会長	伊藤容子
公益社団法人	三重県シルバー人材センター連合会	会長	安藤定紀
公益社団法人	滋賀県シルバー人材センター連合会	会長	平田正男
公益社団法人	京都府シルバー人材センター連合会	会長	石黒善治
公益社団法人	大阪府シルバー人材センター協議会	会長	高寺壽
公益社団法人	兵庫県シルバー人材センター協議会	会長	高島隆三郎
公益社団法人	奈良県シルバー人材センター協議会	会長	宇田秀子
公益社団法人	和歌山県シルバー人材センター連合会	会長	中田元成
公益社団法人	鳥取県シルバー人材センター連合会	会長	山脇誠
公益社団法人	島根県シルバー人材センター連合会	会長	糸賀耕一
公益社団法人	岡山県シルバー人材センター連合会	会長	川野豊
公益社団法人	広島県シルバー人材センター連合会	会長	山崎昌弘
公益社団法人	山口県シルバー人材センター連合会	会長	大田良充
公益社団法人	徳島県シルバー人材センター連合会	会長	森本勝
公益社団法人	香川県シルバー人材センター連合会	会長	佐保光宥
公益社団法人	愛媛県シルバー人材センター連合会	理事長	大塚岩男
公益社団法人	高知県シルバー人材センター連合会	会長	古味勉
公益社団法人	福岡県シルバー人材センター連合会	会長	内田敏夫
公益社団法人	佐賀県シルバー人材センター連合会	会長	山口雅久
公益社団法人	長崎県シルバー人材センター連合会	会長	吉木信一郎
公益社団法人	熊本県シルバー人材センター連合会	会長	西島喜義
公益社団法人	大分県シルバー人材センター連合会	会長	右田芳明
公益社団法人	宮崎県シルバー人材センター連合会	会長	清田則幸
公益社団法人	鹿児島県シルバー人材センター連合会	会長	柿元孝志
公益社団法人	沖縄県シルバー人材センター連合会	会長	翁長盛正

人生百年時代におけるシルバー人材センターの決意と支援の要望（補足）

平素、シルバー人材センター事業につきましては、種々御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、要望書にある補助金及び事業受注の状況は下記のとおりです。財政厳しき折、誠に恐縮ですが、シルバー人材センター事業へのさらなる御理解と御支援をお願い申し上げます。

記

1 補助金の確保について

引き続きの御配慮をお願い申し上げます。

(1) 令和2年度補助金

市：8,639千円（運営費5,339千円、サポート事業費3,300千円）

国：8,639千円（運営費5,339千円、サポート事業費3,300千円）

(2) 運営費の交付限度額

5,339千円（交付限度額表のBランク）

Bランクとは、令和2年度の場合、平成28年度～平成30年度の年度末平均が、会員数で399人以上、就業延人員数で3,283人以上であることですが、当センターの場合、会員数は485人、就業延人員数3,655人です。

(3) サポート事業費の交付限度額

19,000千円（交付限度額算出表の得点16点）

得点は、令和元年11月末時点の会員数及び派遣就業延人員の実績により得点算出表から算出されます。当センターの場合、会員数500人でその得点は4点（381人～507人）、派遣就業延人員の実績（年度換算実績）は7,509人（7,074人～7,716人）でその得点は12点となり、合計16点となります。

したがって、交付額と交付限度額の差額は、15,700千円（19,000千円－3,300千円）となります。

なお、国の補助金交付額は、交付限度額以下かつ市の補助金交付額以下となります。

2 公共からの事業発注の確保について

引き続きの御配慮をお願い申し上げます。

(1) 市から受注事業については、小学校・公民館等の施設管理・清掃、公園管理（指定管理）、市道における街路樹（低木）等の剪定管理、市有地の除草等があります。

主なる受注業務の令和2年度の契約金額（年額）は、

ア 学校施設管理業務 19,445千円

- イ 公民館施設管理業務 14,063千円
 - ウ 公民館清掃業務 3,506千円
 - エ 高千帆福祉会館施設管理業務 2,353千円+924千円(夜間)
 - オ 水道局宿日直業務 4,998千円
 - カ 雇用能力開発支援センター施設管理業務 2,987千円(清掃を含む。)
 - キ 青年の家施設管理業務 1,542千円(清掃を含む。)
 - ク 山陽勤労青少年ホーム施設管理業務 1,393千円
 - ケ 図書館分館管理業務 665千円
 - コ 給食センター清掃業務 518千円
 - サ 歴史民俗資料館清掃業務 219千円
 - シ 市営住宅使用料収納業務 2,919千円
 - ス 下水道使用料収納業務 464千円
 - セ 指定管理業務 40,388千円
 - ソ 市道における街路樹(低木)等の剪定管理、市有地の除草等は個別に契約
- (2) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う影響について

新型コロナウイルス感染症による受注業務の減少は全般的にはあると考えられますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、3月から5月にかけて実施された市の施設の休業の影響は大きく、特に、学校及び公民館の施設管理業務の減額(金額、率)は際立っているように思います。

学校等の施設管理業務は、当センターの統計上の職群は「管理群」となりますので、添付資料の同群と全職群の「就業延人員」(以下「人員」という。)及び「契約金額」(以下「金額」という。)の前年同月比較は次のとおりです。

ア 2月(施設休業等なし)は、全職群の人員252人(10%)の減に対して33人(4%)の増、金額105千円(1%)の増に対して726千円(15%)の増となっている。

イ 3月(施設休業等あり)は、全職群の人員831人(31%)の減に対して722人(72%)の減(全職群の減に占める割合87%)、金額3,952千円(22%)の減に対して3,646千円(65%)の減(全職群の減に占める割合92%)となっている。

ウ 4月(施設休業等あり)は、全職群の人員885人(32%)の減に対して824人(82%)の減(全職群の減に占める割合93%)、金額4,377千円(31%)の減に対して4,333千円(74%)の減(全職群の減に占める割合99%)となっている。

エ 5月(施設休業等あり)は、全職群の人員1,051人(34%)の減に対して642人(63%)の減(全職群の減に占める割合61%)、金額5,

567千円(34%)の減に対して3,442千円(57%)の減(全職群の減に占める割合62%)となっている。

オ 6月(施設休業等なし)は、全職群の人員179人(5%)の減に対して47人(5%)の減(全職群の減に占める割合26%)、金額437千円(3%)の減に対して391千円(7%)の減(全職群の減に占める割合89%)となっている。

(3) 要望について

上記(2)から、

- ア 2月は、全職群とも例年(通常)どおりの受注であったと考えられます。
- イ 3月は、「サービス群」や「一般作業群」にも新型コロナウイルス感染症の影響が若干はあったかもしれませんが、「管理群」への影響が顕著であったと考えられます。
- ウ 4月は、全職群の人員や金額の減は、「管理群」のそれとほぼ同じなので、「管理群」以外の職群には新型コロナウイルス感染症の影響はほとんどなかったと考えられます。
- エ 5月は、金額について「技能群」と「一般作業群」でそれぞれ100万円程度の減となっていますが、それぞれの職群の担当職員の異動によるものと考えられます。「管理群」の人員、金額は、4月と比較するとその減少幅はいずれも小さくなっているものの、新型コロナウイルス感染症の影響が顕著であったと考えられます。
- オ 6月は、新型コロナウイルス感染症の影響が若干あるものの、例年(通常)の受注に戻ってきたものと考えられます。

県内の他センターにおける施設管理業務について、労働基準法の適用を受けない委任契約にもかかわらず、休業手当相当額の補償があった例や代替業務を受注した例、また、ほとんど休業がなかった例もあったと聞いています。今後も、新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波も懸念されることから、休業となった場合の施設管理業務のあり方に御配慮をお願い申し上げます。また、山陽勤労青少年ホームについては、次年度以降の施設管理業務がなくなることから、追加業務についての御配慮を併せてお願い申し上げます。

3 適格請求書等保存方式(インボイス制度)について

市へ要望する事項でないことは承知しておりますが、別紙「解説：消費税・適格請求書等保存方式(インボイス制度)に関する要望」のとおりお力添えをお願い申し上げます。

なお、当センターが新たに負担するとした場合の消費税額は、令和元年度事業実績に基づき試算すれば、14,750千円になると見込まれますが、当該年度の当

期一般正味財産増減額は631,285円ですので、配分金に係る消費税を負担することは不可能です。また、当該年度末の正味財産期末残高は、15,786,242円ですが、これにより消費税を負担すれば、財団法人でなくとも法人運営が困難になると考えます。

添付資料(請負、委任)

月	職群	就業延人員(日人)					契約金額(円)				
		R2年	R1年	増減	増減率	占有率	R2年	R1年	増減	増減率	占有率
6月	技能群	364	342	22	6.43%	-12.29%	2,178,576	2,062,641	115,935	5.62%	-26.52%
	事務整理群	0	20	▲20	-100.00%	11.17%	0	69,993	▲69,993	-100.00%	16.01%
	管理群	903	950	▲47	-4.95%	26.26%	4,982,069	5,373,348	▲391,279	-7.28%	89.49%
	折衝外交群	72	76	▲4	-5.26%	2.23%	296,591	291,202	5,389	1.85%	-1.23%
	一般作業群	1,748	1,886	▲138	-7.32%	77.09%	8,638,936	8,764,112	▲125,176	-1.43%	28.63%
	サービス群	34	26	8	30.77%	-4.47%	77,253	49,351	27,902	56.54%	-6.38%
	合計	3,121	3,300	▲179	-5.42%	100.00%	16,173,425	16,610,647	▲437,222	-2.63%	100.00%
5月	技能群	207	331	▲124	-37.46%	11.80%	1,289,953	2,205,947	▲915,994	-41.52%	16.45%
	事務整理群	0	18	▲18	-100.00%	1.71%	0	58,383	▲58,383	-100.00%	1.05%
	管理群	380	1,022	▲642	-62.82%	61.08%	2,650,688	6,092,912	▲3,442,224	-56.50%	61.83%
	折衝外交群	73	72	1	1.39%	-0.10%	296,591	291,202	5,389	1.85%	-0.10%
	一般作業群	1,380	1,638	▲258	-15.75%	24.55%	6,436,426	7,571,639	▲1,135,213	-14.99%	20.39%
	サービス群	21	31	▲10	-32.26%	0.95%	66,630	87,053	▲20,423	-23.46%	0.37%
	合計	2,061	3,112	▲1,051	-33.77%	100.00%	10,740,288	16,307,136	▲5,566,848	-34.14%	100.00%
4月	技能群	189	181	8	4.42%	-0.90%	983,887	1,167,158	▲183,271	-15.70%	4.19%
	事務整理群	0	18	▲18	-100.00%	2.03%	0	59,806	▲59,806	-100.00%	1.37%
	管理群	179	1,003	▲824	-82.15%	93.11%	1,509,481	5,842,215	▲4,332,734	-74.16%	98.99%
	折衝外交群	73	76	▲3	-3.95%	0.34%	296,591	291,202	5,389	1.85%	-0.12%
	一般作業群	1,416	1,425	▲9	-0.63%	1.02%	7,025,328	6,714,549	310,779	4.63%	-7.10%
	サービス群	9	48	▲39	-81.25%	4.41%	14,247	131,473	▲117,226	-89.16%	2.68%
	合計	1,866	2,751	▲885	-32.17%	100.00%	9,829,534	14,206,403	▲4,376,869	-30.81%	100.00%
3月	技能群	188	63	125	198.41%	-15.04%	1,145,371	319,046	826,325	259.00%	-20.91%
	事務整理群	19	18	1	5.56%	-0.12%	64,299	57,935	6,364	10.98%	-0.16%
	管理群	285	1,007	▲722	-71.70%	86.88%	1,996,252	5,642,603	▲3,646,351	-64.62%	92.26%
	折衝外交群	78	74	4	5.41%	-0.48%	296,596	282,174	14,422	5.11%	-0.36%
	一般作業群	1,251	1,402	▲151	-10.77%	18.17%	10,614,135	11,358,425	▲744,290	-6.55%	18.83%
	サービス群	19	107	▲88	-82.24%	10.59%	43,527	452,049	▲408,522	-90.37%	10.34%
	合計	1,840	2,671	▲831	-31.11%	100.00%	14,160,180	18,112,232	▲3,952,052	-21.82%	100.00%

添付資料(請負、委任)

月	職群	就業延人員 (日人)					契約金額 (円)				
		R2年	R1年	増減	増減率	占有率	R2年	R1年	増減	増減率	占有率
2月	技能群	190	224	▲ 34	-15.18%	13.49%	1,206,773	1,501,624	▲ 294,851	-19.64%	-281.68%
	事務整理群	21	28	▲ 7	-25.00%	2.78%	110,828	157,629	▲ 46,801	-29.69%	-44.71%
	管理群	922	889	33	3.71%	-13.10%	5,540,393	4,814,059	726,334	15.09%	693.89%
	折衝外交群	69	74	▲ 5	-6.76%	1.98%	296,593	282,173	14,420	5.11%	13.78%
	一般作業群	1,128	1,272	▲ 144	-11.32%	57.14%	7,010,250	6,890,959	119,291	1.73%	113.96%
	サービス群	15	110	▲ 95	-86.36%	37.70%	25,682	439,399	▲ 413,717	-94.16%	-395.24%
	合計	2,345	2,597	▲ 252	-9.70%	100.00%	14,190,519	14,085,843	104,676	0.74%	100.00%

添付資料(派遣)

月	就業延人員 (日人)					契約金額 (円)				
	R2年	R1年	増減	増減率		R2年	R1年	増減	増減率	
6月	560	575	▲ 15	-2.61%		3,095,959	3,385,073	▲ 289,114	-8.54%	
5月	497	514	▲ 17	-3.31%		2,608,408	3,003,677	▲ 395,269	-13.16%	
4月	543	565	▲ 22	-3.89%		2,924,375	3,248,628	▲ 324,253	-9.98%	
3月	699	483	216	44.72%		3,766,950	2,897,750	869,200	30.00%	
2月	683	438	245	55.94%		3,770,718	2,546,159	1,224,559	48.09%	

解説：消費税・適格請求書等保存方式（インボイス制度）に関する要望

令和五年十月に導入予定の消費税に置ける「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」について、シルバー人材センター事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となる措置を要望いたします。

消費税については、令和元年10月から食料品等を除き10%に引き上げられ、さらに、令和5年10月からはインボイス制度が導入される予定です。

シルバー人材センターが会員に支払う「配分金」には消費税が含まれていますが、インボイス制度では、免税事業者との取引については消費税に係る仕入控除が認められなくなります。

センターの会員は、ほぼ全員が免税事業者であることから、インボイス制度が導入されると、仕入控除が認められないことになり、センターは、配分金に含まれる消費税相当額を新たに負担し、納税する必要があります。

〇〇〇シルバー人材センターが新たに負担する金額 _____ 円（年間）

（令和元年度事業実績に基づき試算）

しかし、シルバー人材センターは公益法人であり、「収支相償」の原則もあることから剰余金もなく、この新たなコストを負担することは到底できません。このため、予定通りインボイス制度が導入されると、センターでは事務局体制を維持し事業運営を行っていくことが出来なくなる恐れがあります。

ついては、通常取引とは異なり、全ての取引が会員とセンターとの間でのみ行われること、また、会員が生きがい就労の対価として得る配分金の月額額は平均36,241円（2018年度統計）と些少である等の事情を踏まえて、シルバー人材センターの場合には、インボイス制度が導入されても、従来どおり帳簿などの簡便な方法で仕入控除が認められるような措置の導入を要望するものです。

現在、（公社）全国シルバー人材センター事業協会では、国に対して税制改正要望を行うことを検討していますが、自治体等関係者の皆様にも、こうした課題があることをご理解いただきますとともに、様々な機会を捉えてお力添えを賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

閉会中の継続調査事項について

委員会名	調 査 事 項	調査期間
産業建設 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業及び工業に関すること ・ 企業立地に関すること ・ 労政に関すること ・ 公共交通に関すること ・ 農業、林業、畜産業及び水産業に関すること ・ 地方卸売市場に関すること ・ 小型自動車競走事業に関すること ・ 道路及び橋^{りょう}梁に関すること ・ 河川及び港湾に関すること ・ 都市計画に関すること ・ 駐車場事業に関すること ・ 都市開発に関すること ・ 公園及び緑地に関すること ・ 下水道及び農業集落排水に関すること ・ 建築及び住宅に関すること ・ 水道事業に関すること 	令和2年12月 定例会前日まで 継続して閉会中 調査する